

# 都議会民主党レポート

2010  
春号

[発行 都議会民主党政策調査会]  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1  
TEL.03-5320-7230 FAX.03-5388-1784  
<http://www.togikai-minsyuto.jp/>

# 増子ひろき

【増子ひろきプロフィール】昭和34年生まれ。衆議院議員秘書を経て平成3年より文京区議会議員4期。平成11年文京区議会議長。平成17年より都議会議員。経済・港湾委員長として新銀行東京・築地市場移転問題に取り組む。現在都議会民主党政策調査会会长代行。



## ■ 東京都議会第1回定例会報告

# 『築地市場、現在地再整備』 検討が実現



## 青少年条例は知事も認める継続審議に

平

成22年第1回都議会定例会が、3月30日に終了しました。今定例会は、築地市場の移転問題が最大の焦点となりましたが、予算案の修正を前提に協議を重ねてきた結果、現在地再整備を都政の検討課題とすることになりました。また、青少年健全育成条例の改正案に関しては、関係団体より多くの意見を聴いた上で、採決するにはまだ議論が必要と判断し、継続審議としました。

私たち都議会民主党は、都民の皆様の声を聴きながら、熟議のある都政運営を目指していきたいと考えています。今後とも、ご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。

### ▶ 築地市場の強引な移転にNO 用地取得費が事実上執行停止

都議会民主党は、豊洲の安全性が確認されていないことや関係者の合意が得られていないことから、築地市場の強引な移転に反対し、現在地再整備の検討を求めてきました。また、石原知事が現在地再整備の検討に積極的な姿勢を見せなかつことから、今定例会では、豊洲の用地取得費を削除する修正案の提案を発表していました。

しかし、採決直前、石原知事は「議会での現在地再整備の検討結果を真摯に受け止める」「執行機関として組織を設ける」と答弁。用地取得費の執行でも「議会の合意を尊重する」旨答弁しました。

これらの結果、都議会民主党は、現在地再整備が都政での具体的な検討課題となつたと判断し、付帯決議を付して、予算案に賛成しました。今後、都議会民主党は、精力的に現在地再整備を検討し、豊洲案と比較考量した上で、都民や関係者にとって最善の結果が得られるよう取り組んでいく決意です。

### ▶ 雨水浸透機能の強化 復活要求予算が実現

ゲリラ豪雨対策で、雨水浸透ますの設置助成地域が四流域から七流域に拡大されることになりました。さらに、都議会民主党の復活予算要望により、雨水浸透施設の設置指導等強化事業として、区市町村への普及等を支援する経費の予算案が実現しました。



都議会民主党は、浸透ますの設置は民間レベルでの取り組みが欠かせないことから、積極的かつ効果的な広報啓発活動を実施し、今後、計画的かつ継続的に雨水浸透ますの設置をさらに全都に拡大していくよう求めました。

## Topics 1

# NICU1.5倍

## 整備目標実現

■低体重出生児の救命救急室（N I C U）は、従来、新生児10万人あたりに20床設置という、20年前に作られた厚生労働省基準により、都内に約200床しかありません。

2500グラム以下の低体重出生児は、平成2年の1.5倍に増加、N I C U不足が問題でした。そこで都議会民主党が整備目標を現在の実態に合わせて見直しを求め、都は312床を目指しました。今議会で、目標達成に必要な人員確保への都の取り組みを質しました。

都は「周産期母子医療センターの医師確保等のため運営費補助を格段に充実する」と答弁しました。



## Topics 3

# 私学助成を拡充

## 更なる公私格差の是正を

■東京都は、政府が22年度から実施する私立学校の生徒に対する「就学支援金制度」（世帯収入が低い場合に一定の加算をした約12万円から24万円の給付）を踏まえ、一定の所得以下の世帯を対象に、上乗せする形で「私立高等学校等特別奨学金補助」を前年度比約10億円増の約43億円計上しました。

都内では、高校生の約6割が私立高校で学んでいます。公立高校の授業料が無償化する一方、公私間格差の縮小のため、私学に通う生徒の保護者に対する授業料補助を更に充実していくことを本会議の代表質問で要望しました。

また、文教委員会では、私学の経常費補助の充実も図り、学校経営面から見た公私間格差の解消も合わせて要望しました。

## Topics 2

# 保育所整備

## 病児病後児保育の拡充を求める

■厳しい経済状況が続く中、引き続き保育ニーズは増大しており、待機児童は増加の一途をたどっています。都議会民主党は、保育所整備に加えて、保護者の一番の悩みである病児病後児保育も、施設の拡充やサービスコーディネートを強力に支援するよう求めました。



都は、平成24年度までに、保育サービスの利用児童数を2万2000人増やす、国補助に加え、病気の子どものケアに関する普及啓発を図る事業や、子どもの症状に応じ保育と送迎を組み合わせる等の事業に独自の補助等で、拡充に取り組むと答弁しました。

## Topics 4

# 歴史的建造物の活用で

## 景観・観光まちづくりを

■都は歴史的建造物の保存・活用のため、新たに歴史的景観形成ファンドの設立を予定しています。

都議会民主党は、建物所有者が建物の保存に協力しやすくするため、ファンドで修繕費用を助成するだけでなく、維持管理や都市計画税・固定資産税の費用負担などにもインセンティブが働く仕組みの検討を求めました。

また、歴史的建造物を単に景観づくりの観点から保存・活用するだけでなく、観光振興の観点からも周辺のまちづくりに活用していくことを求めています。



**ご意見・ご要望をお寄せ下さい**

FAX.03-3818-3230 E-mail hiroki@masuko.info

連絡先

# 増子ひろき 事務所

〒113-0033 文京区本郷1-34-4 桑山ビル201

TEL.03-3818-3330 FAX.03-3818-3230 E-mail hiroki@masuko.info

都政報告

<http://www.masuko.info>

